

科目名 Course Name	簿記Ⅱ Bookkeeping II			ナンバリング No.	C2-009		
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	山崎 好一						
連絡方法	C-Learning に対応						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP4						
授業の概要と到達目標	会計上の取引と仕訳、さらに決算修正事項を学び、簿記一巡を理解し、決算書の作成及びその意味を理解する。講座は日商簿記3級の範囲の後半を学習し、日商簿記3級検定試験の取得を目的とする。検定資格取得を目指す受講者は、本講座の授業と合わせて相当数の時間を割いて自習をしなければならない。検定試験の指導は、後日、連絡する。						
授業の方法	演習テキストに沿った講義とグループワークによる問題演習で簿記の基本を習得する。毎回ピアインストラクションを実施し、講義内容を明確にする。又、ミニツツペーパーを行い、理解度を把握し、その後の授業に役立てる。						
学習成果	L01						
	L02	仕訳を転記して、試算表の作成ができる。					
	L03	決算修正仕訳と決算書の作成ができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テストを行い、試験結果は授業内に各自フィードバックする。						
教科書/参考図書	合格テキスト日商簿記3級(TAC 出版)ver15 合格トレーニング日商簿記3級(TAC 出版)ver15						
履修上の留意点やルール等	●小テストを毎回理解するように復習すること。●事前・事後の学習に費やすべき目安は各回180分とする。						
担当教員の実務経験	職種:税理士 職歴:1984年～現在に至る 簿記の基本や仕訳を中心とした講義、日商簿記3級検定指導に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品					
発表					
小テスト	授業の進捗に合わせて確認テストを行い、理解度に応じて評価する。		10	20	
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。		40	30	
その他					
合計			50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	シラバスの説明、概要説明、簿記一巡の流れと決算について
	事前・事後学習	簿記Ⅰの内容を復習する
2	授業内容	決算整理Ⅰ及びⅡ(現金過不足、貯蔵品)
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
3	授業内容	決算整理Ⅱ及びⅣ(売上原価、貸倒れ)
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
4	授業内容	決算整理Ⅴ(減価償却)
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
5	授業内容	決算整理Ⅵ(経過勘定項目)
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
6	授業内容	決算整理後残高試算表の作成
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
7	授業内容	精算表の作成
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
8	授業内容	帳簿の締め切り(英米式決算)
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
9	授業内容	損益計算書と貸借対照表
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
10	授業内容	株式の発行
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
11	授業内容	剰余金の配当と処分
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
12	授業内容	税金
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
13	授業内容	証憑と伝票Ⅰ
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
14	授業内容	証憑と伝票Ⅱ
	事前・事後学習	合格トレーニングの問題を解く
15	授業内容	日商簿記検定の過去問題を解く。解説する。
	事前・事後学習	日商簿記検定に向けて、復讐すること。